

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 漁場計画策定費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 里川振興課 水産振興室 水産係 電話番号：058-272-1111(内4216)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 950 千円 (前年度予算額：250 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	250	0	0	0	0	0	0	0	250
要求額	950	0	0	200	0	0	0	0	750
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県下の内水面には、第1種共同漁業権2件、第5種共同漁業権47件、第2種区画漁業権4件が漁業法に基づき設定されている。漁業法75条に共同漁業権は10年、区画漁業権は5年の存続期間があり、平成26年（平成25年度）および31年（平成30年度）に免許された漁業権は令和5年12月31日をもって満了となる。これに県境漁場の第5種共同漁業権3件を加えた、共同漁業権50件、区画漁業権4件の免許切替事務を令和4～5年にかけて行う必要がある。

(2) 事業内容

1. 33河川漁協等の要望聴取等及び説明会の開催（令和4年度）
 - ・ 漁場条件、河川漁協の漁業実態調査および要望聴取
 - ・ 免許手続き等の説明会の開催（県内8ブロック）
2. 隣接県、関係各課との連絡調整（令和4年度）
 - ・ 県境域の漁場については、関係県において免許権者の決定、漁業権の内容等に係る調整
 - ・ 漁業権免許に係る河川管理者等の関係機関との協議
3. 現地調査（令和4年度）
 - ・ 漁協の要望聴取に伴う現地調査（区域の境界、漁業環境実態等）
4. 漁場計画立案、漁場図作成（令和5年度）
5. 免許申請の審査、免許、公示（令和5年度）
6. 増殖指針および制限免許の行使統数の指示（令和5年度）
7. 漁業権行使規則、遊漁規則の認可（令和5年度）
8. 岐阜県内水面漁場管理委員会への諮問（令和5年度）

(3) 県負担・補助率の考え方

漁場計画の策定及び漁業権の免許は漁業法により県が行うこととされている。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	200	県内説明会の実施、関係他県との調整
需用費	20	文具等消耗品
役務費	10	連絡費
使用料	20	会議室借上料
委託費	700	漁場図作成
合計	950	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

(2) 国・他県の状況

適切に漁業権切替事務を行うことにより、漁獲量及び遊漁者の増大を図り、水産業の振興を推進する。

(3) 後年度の財政負担

漁業権免許が完了する令和5年まで

(4) 事業主体及びその妥当性

漁業法により県が行うこととされている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和5年までに漁業権免許の更新を完了する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

漁業法第69条に基づく漁業権免許切替事務であり、目標を設定する事業ではない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>近年は、河川漁業におけるアユ漁の不振が深刻化し、また、遊漁者数も大きく減少した。このことが、漁協経営に深刻な影響を及ぼしている。このことから、漁業権免許の切替を契機に、組合経営を考慮した増殖指針を策定し、資源増殖および漁場環境保全を考慮した漁法行使制限などの新たな秩序づくりが必要となっている。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>適切に漁業権切替事務を行うことにより、漁獲量及び遊漁者の増大を図り、水産業の振興を推進する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
